

大日精化工業株式会社

2023年3月期

決算補足説明資料

証券コード：4116

2023年5月15日

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



Dainichiseika

連結損益計算書

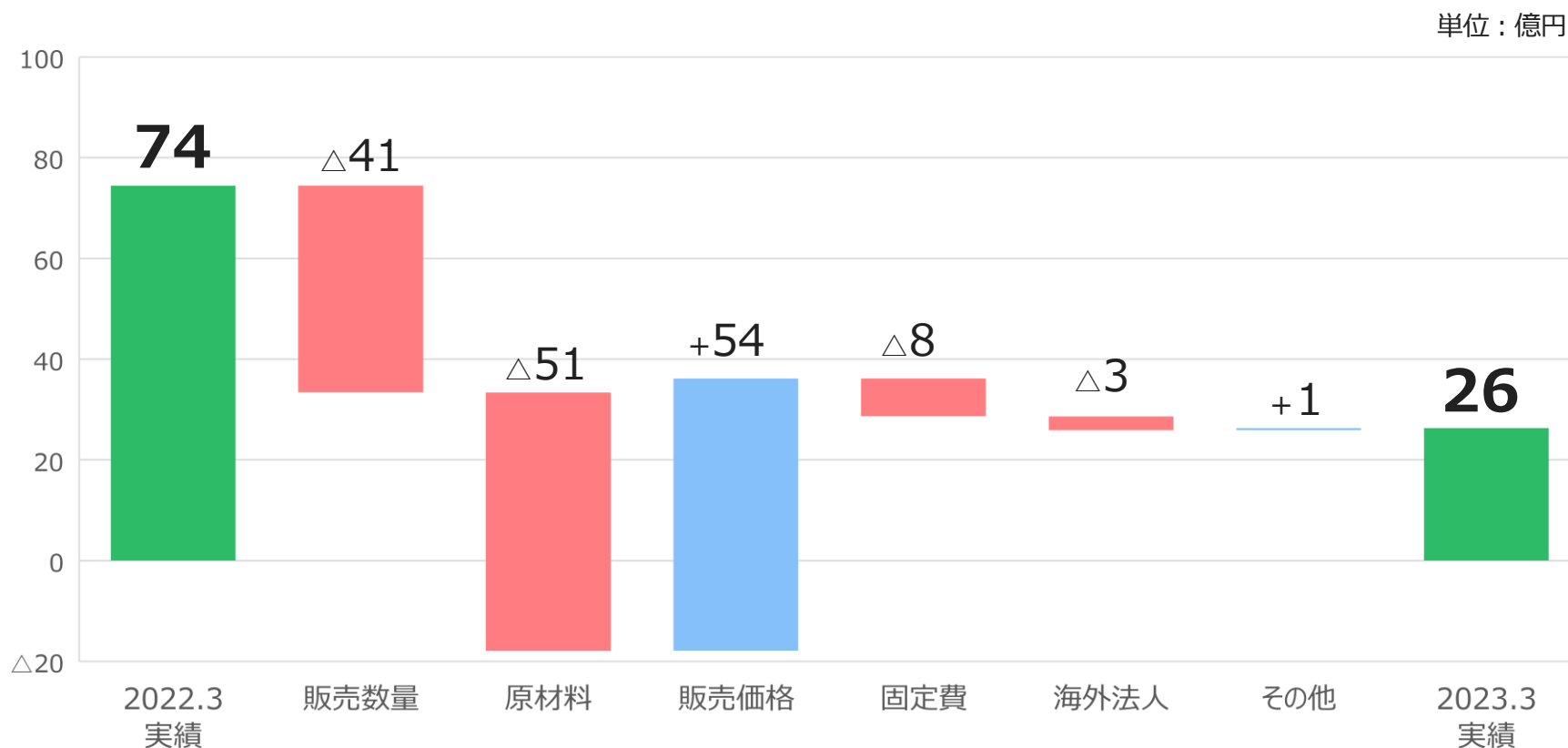
- ・売上高 : 自動車、液晶ディスプレイ向け中心に全般的に減少も販売価格の見直しと円安により増収
- ・営業利益 : 原材料価格高止まりに販売価格の見直し進めるも追い付かず
新工場稼働による移転費用及び減価償却費増加
- ・当期純利益 : 特別利益に政策保有株式売却益、特別損失に固定資産の減損損失を計上

単位：億円・切捨	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	増減	増減率
売上高*1	1,219	1,220	+0	+0.1%
営業利益	74	26	△48	△64.6%
経常利益	83	33	△49	△59.4%
親会社株主に係る当期純利益	61	20	△41	△67.4%
EBITDA*2	127	82	△44	△35.3%
研究開発費	27	29	+2	+7.4%
海外売上高比率	26.4%	27.2%	+0.8	-
1株当たり当期純利益	333.70円	108.58円	△225.12円	-
為替レート	\$ 112円 €131円	\$ 135円 €140円	23円円安 9円円安	
ナフサ価格	56,625円	76,625円	+20,000円	

*1 「収益認識会計基準」適用により、売上高に含まれる有償受給材料472億円を売上原価と相殺表示
*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

連結営業利益の増減要因 (前期・当期実績比較)

- ・販売数量 : 包装パッケージ向けインキは前年並み・自動車、液晶ディスプレイ向け製品が低調に推移
- ・原材料、販売価格 : 樹脂、溶剤等の原材料価格高止まり・販売価格の見直し進む
- ・固定費 : 活動経費（旅費・交際費）及び新工場費用（償却・移転）計上
- ・海外法人 : 華南、インドのコンパウンド好調継続も原材料価格高騰により前期比減益



セグメント別概況（サマリー）

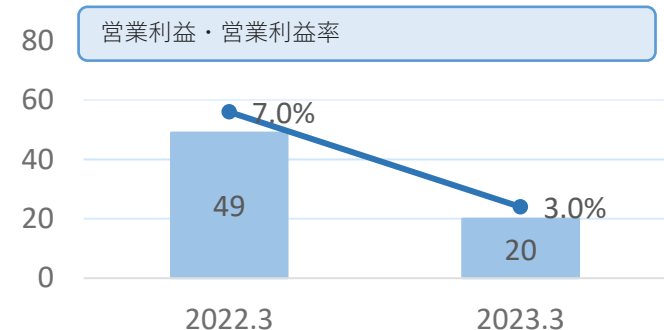
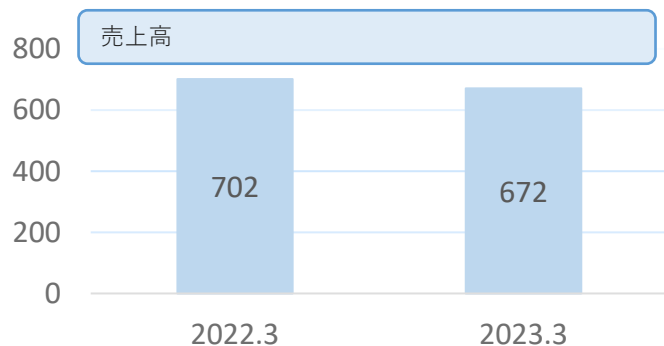
- ・C&F：海外コンパウンド好調継続も国内自動車及び液晶ディスプレイ向けの販売数量減により減収・減益
- ・P&C：円安により海外子会社増収も液晶ディスプレイ向けの販売数量減により減益
- ・G&P：国内外とも販売は堅調に推移も原材料価格の高止まり及び新工場費用（移転・償却）計上により減益

売上高 単位：億円・切捨	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	702	672	△30	△4.3%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	236	236	+0	+0.2%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	280	310	+30	+10.9%
売上高	1,219	1,220	+0	+0.1%

営業利益 単位：億円・切捨	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	49	20	△29	△59.3%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	33	19	△13	△40.2%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	△8	△13	△5	-
営業利益	74	26	△48	△64.6%

セグメント別概況（カラー&ファンクショナルプロダクト）

Color & Functional Products 顔料及び顔料の2次加工製品



	2022.3	2023.3
EBITDA*	79	49
研究開発費	14	15
設備投資額	21	20

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

【売上高】

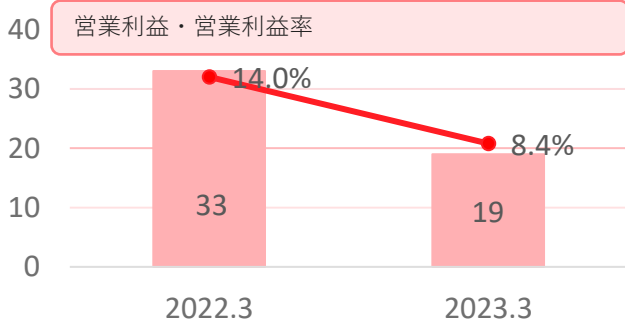
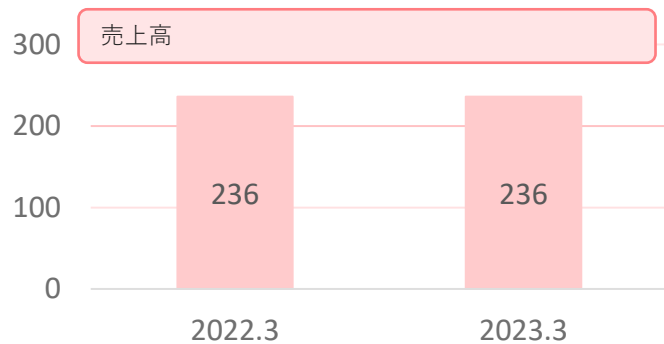
- ✓ 国内外とも自動車向けを中心にコンパウンド・着色剤が低迷もベトナム・インド拠点が好調に推移し増収
- ✓ 液晶ディスプレイ向けの顔料及び分散体は在庫調整により通期にわたり低迷も4Qより回復の兆し

【営業利益】

- ✓ 海外のコンパウンド・着色剤拠点で増益
- ✓ 下期以降、原材料価格の落ち着きにより販売価格の見直し効果あるも、景気減速により販売数量減少により減益

セグメント別概況（ポリマー&コーティングマテリアル）

Polymer & Coating Materials 合成樹脂及び特殊コーティング剤



2022.3 2023.3

EBITDA*	45	33
研究開発費	8	9
設備投資額	10	6

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

【売上高】

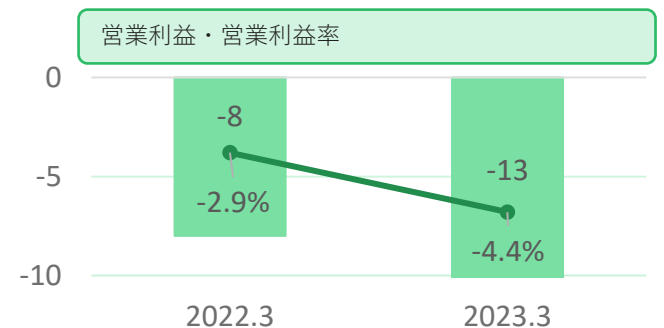
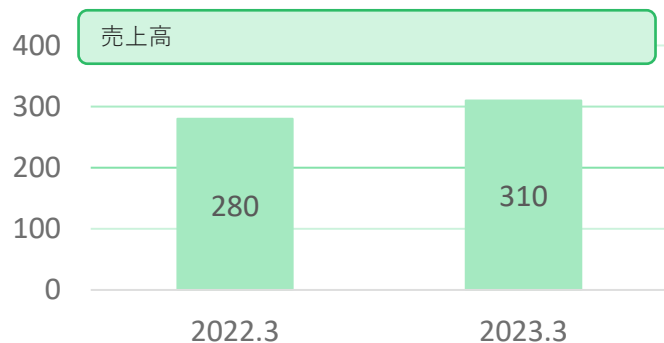
- ✓ ウレタン（PU）樹脂は、自動車・産業資材・衣料品服飾品用途向けの販売数量減少も販売価格の見直しにより金額は微減
- ✓ 液晶パネル在庫調整により、ディスプレイ向けコーティング剤の数量・金額とも減少も4Q後半から回復の兆し
- ✓ ウレタン樹脂の中国拠点は、自動車・衣料品向けが好調により増収

【営業利益】

- ✓ ウレタン樹脂、コーティング剤ともに販売数量の減少により減益
- ✓ ウレタン原料や溶剤等の原材料価格の落ち着きと販売価格の見直しにより下期以降の損益が改善傾向

セグメント別概況（グラフィック&プリンティングマテリアル）

Graphic & Printing Materials パッケージ用及び広告出版用インキ



【売上高】

- ✓ グラビアインキは、国内は包装パッケージ向けが数量・金額ともに前年並みに推移も主に海外向けの情報電子・建材向けが低調に推移
- ✓ 海外は、コロナ禍から回復したインドネシア拠点が増収
- ✓ 広告出版向けのオフセットインキは需要減少により減収が続く

【営業利益】

- ✓ 販売価格の見直しを進めるも、樹脂・溶剤等の原材料価格の上昇の影響を受ける
- ✓ 坂東製造事業所稼働による減価償却費等の固定費増、移転費用の計上
- ✓ 海外法人インドネシアは原材料価格高止まりに対して販売価格の見直しが進まず減益も期末にかけて回復傾向

2022.3 2023.3

EBITDA*	1	△1
研究開発費	4	4
設備投資額	18	15

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

連結貸借対照表

- ・資産 : 総資産減少・原材料高騰で「棚卸資産」が増加・売上減少により「売掛債権」は減少
「有形固定資産」は減損損失計上により減少・政策保有株式売却により「投資有価証券」減少
- ・負債 : 負債計減少・仕入減少により「支払手形・買掛金」減少・「有利子負債」は返済済み減少
- ・純資産 : 純資産増加・配当金前期末@40円、中間@40円実施・円安、退職給付債務の減少により
「その他の包括利益累計額」が増加

単位：億円・切捨	2022年3月期	2023年3月期	前年度末比 増減	2022年3月期	2023年3月期	前年度末比 増減	
流動資産	1,113	1,102	△10	流動負債	594	535	△59
固定資産	853	825	△28	固定負債	267	249	△18
有形	523	497	△25	負債	862	784	△77
無形	19	13	△5	有利子負債	329	309	△19
投資	311	313	+2	純資産	1,104	1,143	+38
資産	1,967	1,927	△39	負債・純資産	1,967	1,927	△39

	2022年3月期	2023年3月期	増減
DEレシオ	0.30	0.28	△0.02
自己資本比率	55.1%	58.1%	+3.0
BPS	5,868.51	6,060.11	+191.60
PBR	0.35	0.29	△0.06
ROA	4.2%	1.7%	△2.5%
ROE	5.9%	1.8%	△4.1%

連結キャッシュフロー計算書

- ・営業CF：税金等調整前当期純利益減、減価償却費前年並み
- ・投資CF：有形固定資産の取得による支出（坂東製造事業所など）・投資有価証券売却（政策保有株式）
- ・財務CF：長短借入金の返済及び配当金の支払い

単位：億円・切捨	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	増減	増減率
営業CF	+75	+30	△45	△60.4%
投資CF	△66	△21	+44	△67.0%
財務CF	△114	△38	+75	△66.4%
現金及び現金同等 物の期末残高	248	231	△17	△7.1%
債務償還年数*1	4.3年	10.3年	+6.0年	
インタレスト・ カバレッジ・レシオ*2	22.3倍	10.3倍	△12.0	

*1 債務償還年数 = 有利子負債 ÷ 営業CF

*2 インタレスト・カバレッジ・レシオ = 営業CF ÷ 支払利息

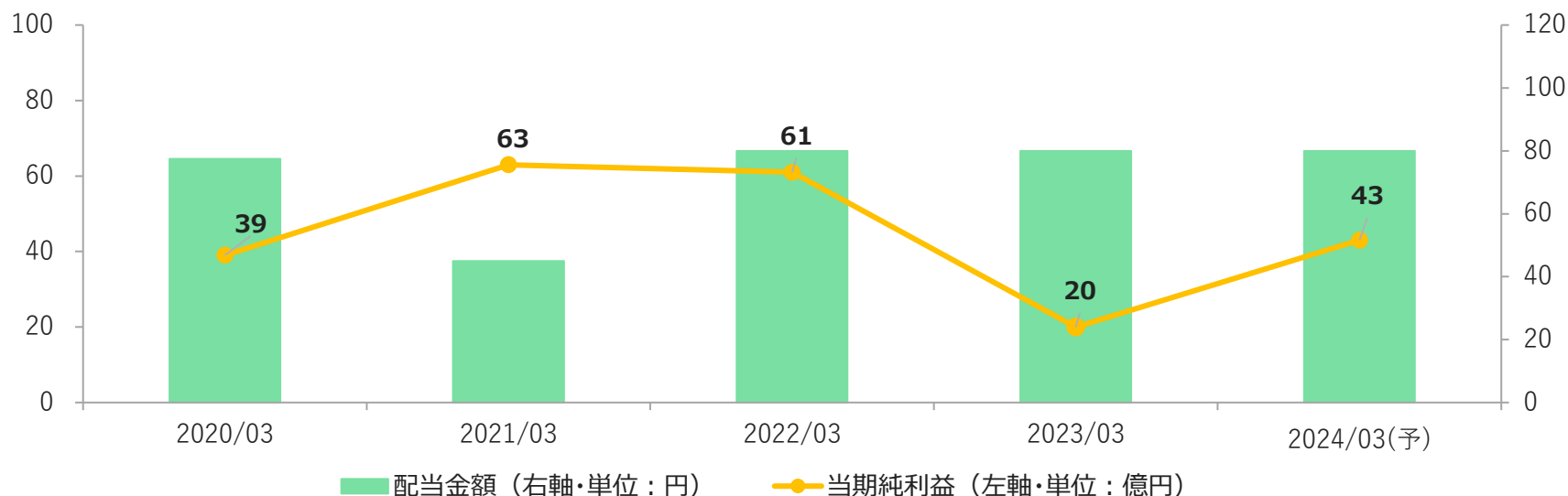
株主還元（配当金）

【配当政策】

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の観点から、将来の事業展開、経営基盤の強化並びに内部留保の充実等の事項を総合的に勘案しつつ、株主各位への利益還元を重視した配当政策を継続的に実施することを基本方針としております。

【配当方針】

- ・業績に連動した安定的、継続的な株主還元を着実に実施
- ・財務体質の健全性を維持しながら、成長に向けての投資及び環境投資へ優先的に配分
- ・配当性向 2～3割程度を計画



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
1株当たり配当 (円)	77.5	45.0	80.0	80.0	80.0
配当性向	36.2%	13.2%	24.0%	73.7%	34.4%

業績予想

- ・売上高 : 下期以降、自動車及び液晶パネル向け需要の回復により増収
- ・営業利益 : 売上高増収及びユーティリティ費用上昇も販売価格の是正を進め増益

単位：億円・切捨	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	増減率
売上高	1,220	1,280	+59	+4.9%
営業利益	26	52	+25	+97.3%
経常利益	33	56	+22	+66.0%
親会社株主に係る当期純利益	20	43	+22	+114.2%
EBITDA*	82	103	+21	+26.0%
1株当たり当期純利益	108.58円	232.54円	+123.96円	-
為替レート	\$ 135円 €140円	\$ 135円 €145円	- 5円円安	
ナフサ価格	76,625円	72,000円	△4,625円	

業績予想（セグメント別）

- ・C&F及びP&C：両セグメントとも国内外の自動車及び液晶ディスプレイ向け需要が回復により増収・増益
- ・G&P：売上高は国内外とも堅調を見込む 新工場費用移転費用なくなり減益幅縮小

売上高 単位：億円・切捨	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	672	705	+32	+4.9%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	236	250	+13	+5.7%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	310	325	+14	+4.6%
売上高	1,220	1,280	+59	+4.9%

営業利益

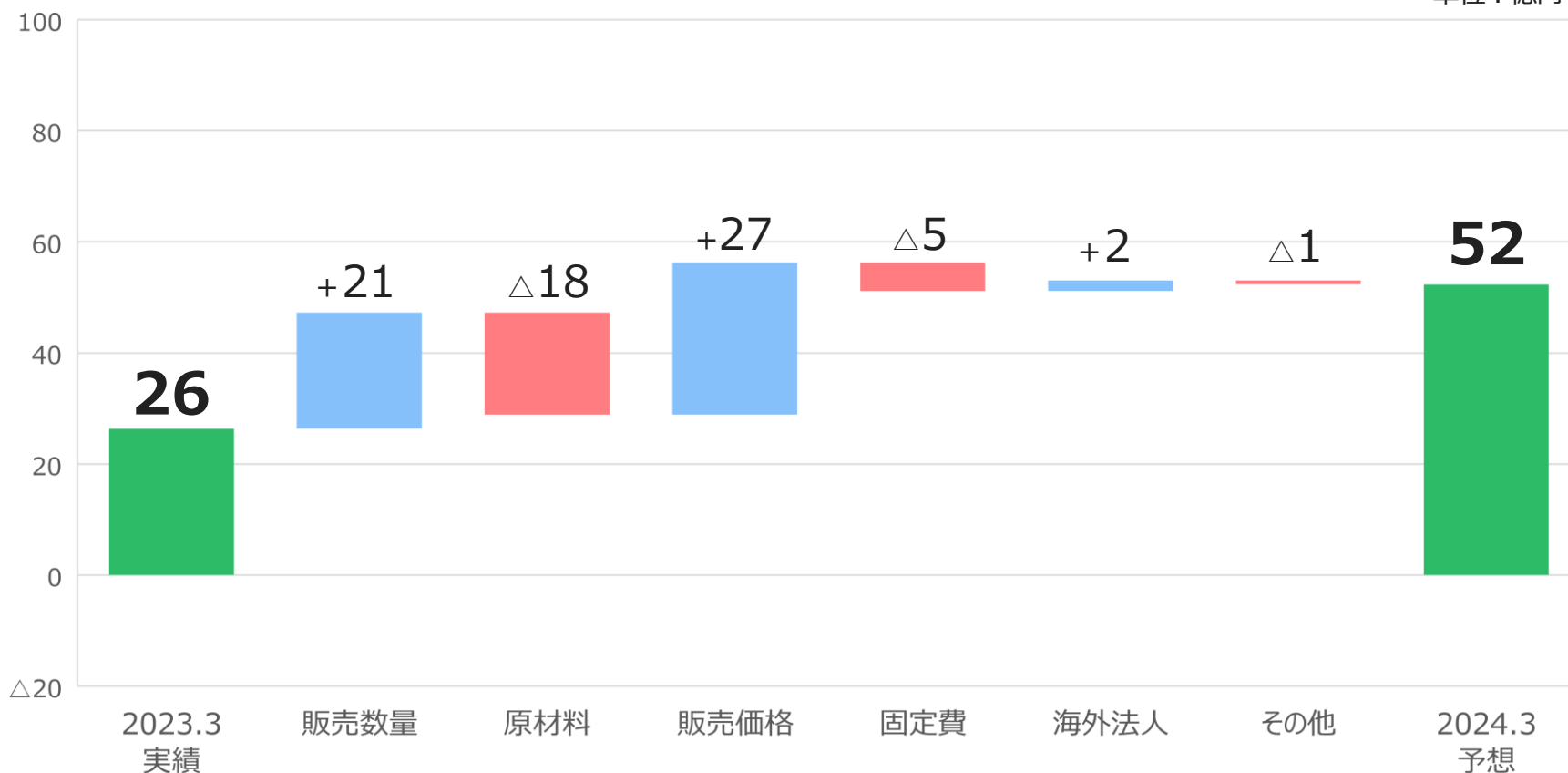
単位：億円・切捨

カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	20	29	+8	+44.6%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	19	27	+7	+36.6%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	△13	△4	+9	-
営業利益	26	52	+25	+97.3%

業績予想（連結営業利益の増減要因（当期実績・翌期予想））

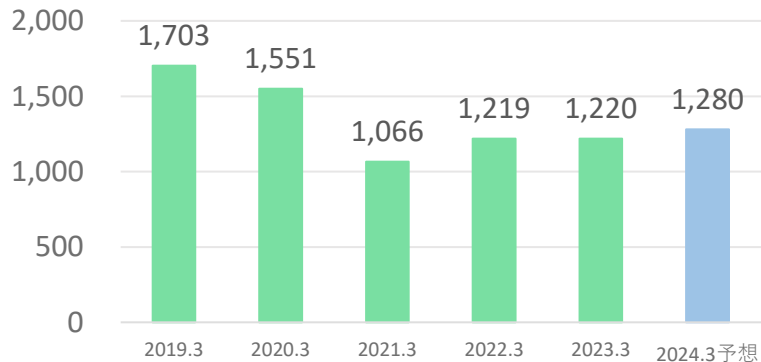
- ・販売数量 : 下期以降、自動車及び液晶パネル向けの需要が回復
- ・原材料、販売価格 : 一部原材料価格の上昇継続・ユーティリティ費用等の上昇に対する販売価格見直し
- ・固定費 : 活動経費増（旅費・交際費）
- ・海外法人 : 東南アジア・インドのコンパウンド会社好調継続

単位：億円



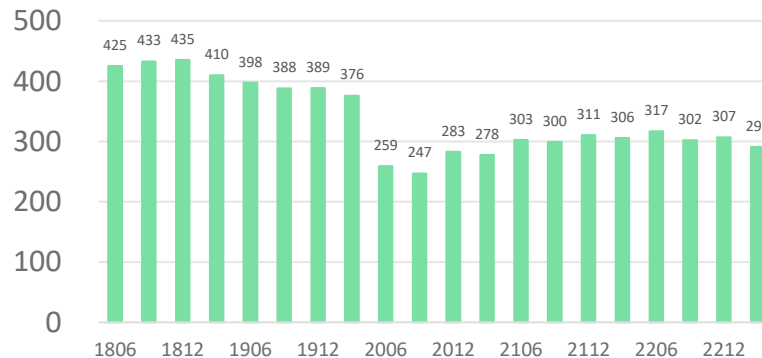
業績推移 (通期・四半期)

売上高・通期 (単位：億円)

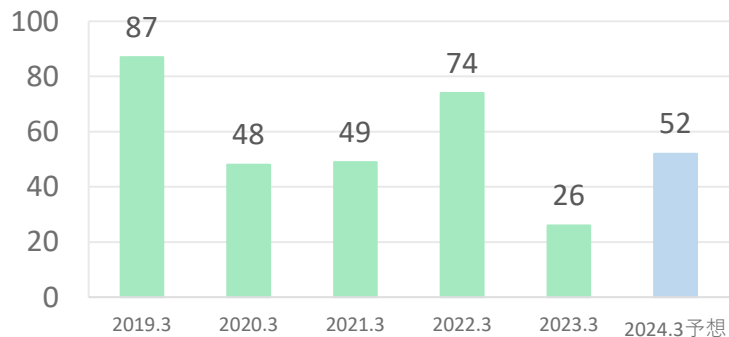


※2021年3月期以降の通期及び四半期売上高は「収益認識に関する会計基準」を適用後の数値

売上高・四半期 (単位：億円)



営業利益・通期 (単位：億円)



営業利益・四半期 (単位：億円)

